

01 第1回(仮称)北烏山七丁目緑地オープンフォレスト

開催日時 令和8年**10月2日(金)・3日(土)**
10:00～16:00
 ※10月2日(金)延期日なし荒天時中止、
 10月3日(土)荒天時は10月4日(日)に延期

場所 (仮称)北烏山七丁目緑地
 (世田谷区北烏山七丁目12番(一部)及び14番)

オープンフォレストとは、普段は入れない緑地を開放し、区民の皆さんに緑地とふれあい、遊びや体験など自由に過ごしていただけるプログラムです。開催時間中は自由に入ることができます(事前申込不要)

当日の主なプログラムの紹介 ※プログラムの詳細は、世田谷区 HP をご確認ください。

緑地の生きものとふれあい
 自然観察ツアー・生きものを探そう!



- ①自然観察ツアー
生きものに詳しい専門家と一緒に緑地を探検します!
- ②生きもの展示
緑地で見つけた昆虫を展示・解説します。

森づくりプロジェクトオリエンテーション
 ～専門家と一緒に森を見ながら歩こう～



森づくりの専門家と一緒に緑地の現状を観察しながら、これからの森づくりについて学びます。これまであまり立ち入る機会がなかった南側エリアも歩きます。

自然は身近なあそび場
 緑地でみんなで遊ぼう!



- ①わくわく外遊び
身近な自然を使って緑地で遊ぼう!
- ②ネイチャークラフト
自然の素材で、オリジナルの作品を作ってみませんか?

事業の紹介、区民参加・交流の場
 KITAKARA CAFE(キタカラカフェ)



ふらっと立ち寄って、お話できるコーナーです。事業の紹介や、区民参加の取組でやってみたいこと、アイデアなどお話を聞かせてください。

02 第2回ワークショップ:生きものと人の居場所づくりを考えよう!

開催日時 令和8年**11月7日(土)**
13:30～16:00

【場所】 烏山北小学校ランチルーム
 (世田谷区北烏山6-3-1)

【申込】 申し込みフォーム(下記QR)または電話 **【先着40名】**

1回目から続けての参加はもちろん、2回目からの参加も可能です!
 お気軽にご参加ください

ひととき保育(託児)

専門スタッフによるお子様のお預かりも可能です。対象は、生後5か月以上の未就学児です。希望される方は、10/16(金)までにお申し出ください。(先着5名、無料)

お申込みはこちら: **×切:10月30日(金)**

※参加にあたり配慮が必要な方はお申込みの際にご相談ください。



最新情報はここから

緑地のようすやイベントの案内、緑地づくりプログラムの取り組み情報などをお伝えしています。

緑地ポータルサイト



X



Facebook



Instagram



今号の目次

- P01-05 緑地づくりフォーラム開催報告
- P06-07 今年度の緑地づくりの取り組みと実施スケジュール
- P08 次回の緑地づくりプログラムの開催予定



第**12**号

令和8年(2026年)9月発行

発行者

世田谷区
 みどり33推進担当部
 公園整備利活用推進課



TOPICS

1 「みんなで考える緑地づくりフォーラム」を開催しました!

(仮称)北烏山七丁目緑地基本計画の策定を契機に、令和8年8月23日(土)に、烏山区民会館にて「みんなで考える緑地づくりフォーラム」を開催しました。

当日は100名以上の方にご参加いただき、第1部では、本事業の紹介や基本計画の紹介、区民や大学生によるこれまでの活動報告を行いました。第2部では、有識者や専門家によるパネルディスカッション、会場参加者との対話によるクロスディスカッションなどを行い、これからの緑地づくりを考える充実した会となりました。

プログラム

- 第一部 ■基本計画の紹介
■これまでの活動報告
- 第二部 ■登壇者によるパネルディスカッション
■会場参加型のクロスディスカッション



フォーラムの様子 ～グラフィックレコーディングを作成しました!～

拡大版のグラフィックレコーディングはこちらよりご覧いただけます。



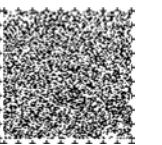
(区HP)



お問い合わせ

世田谷区みどり 33 推進担当部
 公園整備利活用推進課 公園整備利活用推進担当
 TEL : 03-6432-7911 FAX : 03-6432-7989

区HP



音声コード(Uni-Voice)

「みんなで考える緑地づくりフォーラム」開催報告

フォーラム当日の様子をご紹介します。

01 基本計画の紹介

世田谷区 公園整備利活用推進課

北烏山七丁目緑地事業について

（仮称）北烏山七丁目緑地は、長年にわたり地域に愛されてきた樹林地でした。平成14年から15年にかけて、「岩崎学生寮のみどり豊かな自然環境の保存に関する陳情書」が提出され、約1万筆もの署名が寄せられました。こうした地域の皆さんの思いも受け、区では保全方針を策定し、土地所有者との協議を重ねた結果、このたび都市緑地として取得し保全・整備する運びとなりました。

参加と協働による緑地づくりを進めるため、区民の皆さんと「緑地の計画を考えるワークショップ」、「樹林地の管理を実践体験するフィールドワーク」、「緑地を親しみ、楽しむ緑地開放」の3つの取り組みを実施しながら検討を重ね、令和8年5月に（仮称）北烏山七丁目緑地事業の基本計画を策定しました。

緑地のコンセプトは、ワークショップでの議論を重ねた結果、「地域で守り、育み、活かす緑地」と決めました。これまで地域で大切に守られてきた貴重なみどりを次世代へ引き継ぐとともに、本緑地が地域の核となるみどりとしての機能を十分に発揮し、烏山寺町をはじめとする周辺地域の魅力向上や回遊性の向上につながるよう、整備を進めてまいります。



緑地での大学連携の取り組み



緑地のついで縄跳びを披露

これまでの区民参加の取り組みの紹介

フィールドワークや緑地開放では、より多くの区民の方々に緑地を知り、楽しんでもらうことを中心に、日本女子体育大学および東京農業大学と一緒に緑地の魅力を活かした取り組みを行いました。現在の緑地は、人の手が入らなかったことで荒れておりますが、つる取りや草刈りなど人の手が適度に入ることによって、生きものや人にとって居心地のよい環境となることが分かってきました。

また、緑地開放では、フィールドワークで出たつるを縄跳びの「なわ」として活用し、みんなで大縄跳びをして楽しみました。このように、緑地の資源を大切にすることを重視し、緑地の維持管理や資源の循環について専門家の指導も頂きながら、緑地づくりを区民の皆さんと一緒に進めていきたいと思っています。



参加と協働による緑地づくり



基本計画図

02 今までの活動報告

これまでの緑地づくり活動に参加いただいた区民の方々と日本女子体育大学の学生さんに、これまでの取り組みと今後の緑地づくりに期待することについて発表していただきました。

緑地との関わり

私は本緑地の近隣に十年以上住み、当時は、岩崎学生寮を取り囲む豊かな緑地の状態を眺めて喜んでおりました。計画づくりに参加できると知り、ワークショップやフィールドワークに参加するうちに、**緑地は状態ではなく、常に変化していく生命活動体**だと思えるようになりました。緑地は多様な人を受け入れ、関わる誰もが緑地の生命活動体の主人公になれると感じております。

〔区民参加者〕
河路さん



これから

高齢者の健康維持や仲間づくりのための地域サービスの運営に携わるなかで、モルックやボッチャなど**ユニバーサルスポーツを楽しむ場づくり**を本緑地でも実施できたらと思っています。

緑地との関わり

行政が区民と一緒にワークショップで緑地づくりを行うと聞いて「これは参加した方がいい」と思い、夫婦で参加しました。印象に残ることが数多くありましたが、ワークショップを通じて、**自然を大切にし、自然との付き合い方を知る。そして、人は自然から癒しを受け、集まることで顔見知りとなり人と人がつながる。**なかなか奥深く素晴らしい取り組みだと思っています。

〔区民参加者〕
武田さん



これから

緑地が魅力的な場になれば、そこに人が集まり、人の目が増えるほど、地域の防犯力や子どもたちへの見守りの力が高まっていくと考えています。私自身も緑地の成長を楽しみに、見守っていきたいと思っています。

緑地との関わり

私たちの研究室では、年間を通して野外イベントを開催しており、本緑地でも活動をしています。去年は、**緑地の整備で間伐した竹を使った竹箸づくりや、緑地の環境を活かした自然あそびのプログラムや教材を、緑地に来た子供たちに体験してもらいました。**実際に遊んでもらった感想をもらい、私たち自身も実践を通じて学ぶ機会となりました。

〔日本女子体育大学〕
学生さん



これから

緑地が整備された後も、子どもたちや現場の声を聞きながら、**子どもたちや地域の方々が気軽に自然と触れ合い、楽しく安全に遊べるプログラムや教材の開発**に取り組んでいきたいです。

03 登壇者によるパネルディスカッション

区からの話題提供

基本計画では、「地域住民との協働により、守り、育て、100年後も地域の誇りとなる緑地」を将来像として掲げています。緑地整備に向けて地域の皆さんと検討を進めていますが、開園後の活用や関わり方、森の成長に合わせて緑地をどのように守り育てていくかも重要な視点です。本日は、「**100年後も地域に誇れる緑地とは何か**」をテーマに、緑地整備で大切にすべき視点について、登壇者や会場の皆さんとの意見交換を通じて検討を深めていきたいと思っています。

登壇者によるパネルディスカッション

東京農業大学 教授
入江彰昭

緑地計画の専門家。誰もが参加しやすい環境問題への取り組みを実践。



緑地の暑熱緩和効果などを研究しており、この緑地でも区民の皆さんと一緒に調査したところ、同じ緑地の中でも樹木の有無によって気温に明らかな差が見られました。皆さんと樹木による気温の緩和や雨水の集水機能などについて学びながら自然環境への理解を深め、より良い緑地づくりを進めていきたいと思っています。

(株)ランドスケープ・プラス
代表 平賀達也

ランドスケープアーキテクト
グローバルに支持されるローカルな価値づくりを実践。



これから皆さんと一緒に緑地づくりを進めていくために、「**トリの目**」「**ムシの目**」「**ミミズの目**」という3つの視点を設定しました。「トリの目」は長い目で緑地を守り続けること、「ムシの目」は今ある緑地を楽しみながら活かすこと、「ミミズの目」は緑地での体験を通じて見えない価値に気付くこと。緑地に関心を持つ様々なきっかけを提供し、区民の皆さんと同じ視点を共有して取り組む姿勢が、100年後も続く緑地づくりにつながるものと考えています。

それぞれの専門の視点から、これからの緑地づくりについて、お話をいただきました。



日本女子体育大学 准教授
中丸信吾

野外教育の専門家。自然体験の教育効果を研究。大自然から身近な緑地まで野外教育の取り組みを実践。



自然体験・野外教育の視点で、緑地の魅力を3つ考えてみました。1つ目は**都会の中にある自然にとっても価値があること**、2つ目は**自然が遊び道具ということ**、3つ目は**自然と人がつながること**です。自然と人が共に過ごすことで成長していくという考え方が必要と思っており、これからの緑地活動のなかでこの3つを皆さんに紹介していきたいと思っています。

東京藝術大学 准教授
RFA 主宰 藤村龍至

建築家 / ソーシャルアーキテクト
公共空間におけるコミュニティづくりを総合的に実践。



建築の設計では、最初は単純な形であっても、様々な対話を重ねながら、少しずつ形を変えていくプロセスを大切にしています。本緑地につくる建築についても、「**森の中にある建築は、どのような姿であるべきか**」を起点に、「**自然が治れば社会が治る、社会が治れば自然が治る**」というエコロジカル・デモクラシーの考え方を重ねながら、自然と一体となった建築のあり方を探っていききたいです。

04 会場参加型のディスカッション

登壇いただいた専門家の方々と、区や会場からの質問も交え、クロスディスカッションを行いました。

会場参加者とクロスディスカッション（質疑応答）

Q. これからの緑地づくりについて、期待することはありますか？

入江先生：**区民と行政が同じ目線**で一緒に緑地づくりに取り組むことです。

中丸先生：**住民目線**で通いたくなる場所にしていきたい。

平賀氏：我々が前のめりに関わることで、**熱い想いを持つ行政に**応えていきたい。

藤村先生：**参加と協働の世田谷区だから**こそできるよりよい建築をつくりたい。



Q. 100年後も残る緑地を目指すにあたり、短期、中期でどのような目標が考えられますか？

平賀氏：**緑地をどう手入れをしたらいい状態にもっていけるか、皆さんと共有し、将来の子どもたちにありがたうと言ってもらえる議論**を1年で尽くすことが大事だと思います。

藤村先生：最初の5年は将来に向け、様々な方が一緒になってどんな運営・維持管理体制をつくれるかが重要であり、5年後にそれがどう引き継がれていくかという中期的な目標があるなど、**いくつかの世代にまたがった関係をつくっていくこと**だと考えています。

【保坂区長からも質問をいただきました】

Q. 近年のコミュニティの希薄化に対し、緑地に期待されることは何か

入江先生：病院やデイケアの現場で、花を植えたり、土を触ったりされているが、**植物や土とふれあうと、利用者にも笑顔がみられ会話が弾む**と、皆さん口を揃えていわれます。それが緑や土の力であり、そういう活動が地域のプライドにもつながっていくと思います。

Q. この緑地を保全整備することで、次世代に向けて何を伝えていくのか

平賀氏：**命のつながりの大切さ**だと思います。グローバルに支持されるローカルな価値づくりを、世田谷区から世界に発信していきたい。



05 フォーラムを通じて皆さんからいただいたメッセージを紹介します！

当日会場で実施したリアルタイムでの質問募集や記述式アンケートにて、参加いただいた皆さんからたくさんのご意見をいただきました。その一部をご紹介します。

緑地に期待すること

自然の中で生かされて、癒されることを実感できる緑地を期待しています。

自然を通して沢山のことを学べる機会にしたい。

みんなが計画、運営、管理に携われる場所にしてほしい。

緑地づくり過程から開園後まで、活動に参加できるのは、とても楽しみです。

署名から緑地づくりの取り組みに至った物語を伝えてほしい。

鳥山のシンボルとして、市民と共に作り、未来に残せたら嬉しい。

周辺の地域資源と連携し、エリア全体で公園・緑地の効果を高める拠点として位置づけしてほしい。

地域の福祉、健康、子育て、多世代交流、コミュニティ形成など、まちづくりに活かされる場として捉えてほしい。

子ども達の意見も大切だと思っています。

緑地で取り組んでみたいこと

ワークショップで葛の蔓で籠を編んだり、竹炭を作ったり大人向けのプログラムもほしい。

無農薬野菜を栽培できる畑を作ってほしい。

車イス利用者も参加できるプログラムを実施してほしい。

キャンプイベントをやりたい。

様々な利用の仕方をみんなで考えていきたい。

皆さんからいただきましたアンケートのご意見の詳細は、区 HP をご覧ください

今年度の緑地づくりの取り組みと実施スケジュール

区民参加のイメージ

基本計画検討までの取り組みイメージ

これまでは、「ワークショップ」「緑地開放」「フィールドワーク」の取り組みを軸に、緑地の将来像や将来イメージを検討してきました。



基本設計検討以降の取り組みイメージ

これからは、緑地の利活用やふさわしい森づくりについて区民の皆さんと検討を深めます。フィールドワークを発展させた「森づくりプロジェクト」に加え、「利活用プロジェクト」を実施し、様々なプログラムを通じて、将来の整備や管理運営、緑地での活動のあり方を具体化していきます。



今年度から始まる「基本設計」は、区民の皆さんの想いやアイデアを具体的な形にしていく大切なステップです。「100年後も地域の誇りとなる緑地」を目指し、整備後の管理・運営も見据えながら取り組みます。ぜひ、皆さんの緑地で「やってみたいこと」や「こんな過ごし方がしたい」を聞かせてください。

緑地づくりプログラムのスケジュール

緑地の将来像を考え、専門家と一緒に具現化していきます

緑地づくり
を考える!
設計
ワークショップ



- 9/26(土) 第1回 過去と未来をつなぐ年表をつくろう!
- 11/7(土) 第2回 生きものと人の居場所づくりを考えよう!
- 1/30(土) 第3回 循環の視点から緑地と建築を考えよう!
- 4/24(土) 第4回 基本設計(案)をとりまとめよう!
- 6/12(土) 第5回 基本設計(案)の確認・開園後をイメージしよう!

緑地の使い方を考え、実践していくメンバーを募集します

緑地を活かす!
利活用
プロジェクト



緑地の魅力を活かし、樹林地や広場で、地域の皆さんが楽しみながら交流できる取り組みを行います。

- 12/4(金) 緑地でやってみたいことを試してみよう!①
- 12/5(土)
- 1/16(土) 緑地でやってみたいことを試してみよう!②
- 3/27(土) 春のイベント
～みんなのやってみたいこと大集合～

4月以降の予定は決定次第お知らせします

緑地の将来を考え、森を育てていくメンバーを募集します

緑地を育む!
森づくり
プロジェクト



区民や専門家と、調査や手入れなどのフィールドワークを行い、将来よりよい樹林地になるよう計画を立て、再生に取り組みます。

- 12/4(金) 森づくりの考え方を知ろう!①
～森の観察と簡易な手入れ～
- 12/5(土)
- 1/16(土) 森づくりの考え方を知ろう!②
～森の観察と簡易な手入れ～
- 3/27(土) 森づくりの関わり方をイメージしよう!

4月以降の予定は決定次第お知らせします

緑地とふれあい、遊びや体験など楽しみながら自由に過ごせます

緑地を楽しむ!
**オープン
フォレスト
(緑地開放)**



- 10/2(金) 3(土)
 - 12/4(金) 5(土)
 - 1/16(土)
 - 3/27(土)
- 緑地の自由な散策や自然観察、自然あそびなど、どなたでも気軽に参加できます。さらに、各プロジェクトの参加・実践の場として、新たな緑地の魅力や楽しみ方を広げていきます。

各プログラムの詳細は、今後、お知らせや区 HP、各 SNS 等で発信していきます。